

バイオメディカルサイエンス専攻（修士課程）

平成 22 年度

シ ラ バ ス

神戸大学大学院医学研究科

平成22年度 バイオメディカルサイエンス専攻 授業科目一覧

科目区分	授業科目名	単位数	コーディネータ	担当教員
必修科目	バイオメディカルサイエンスA	2	片岡	授業概要参照
	バイオメディカルサイエンスB	2	横崎	授業概要参照
	社会医学	1	西尾	授業概要参照
	生命倫理・安全	1	西尾	授業概要参照
	バイオサイエンス基本実習	4	各所属分野	各所属分野
	文献解析・プレゼンテーション演習	4	各所属分野	各所属分野
	バイオメディカルサイエンス特別研究	10	各所属分野	各所属分野
	必修科目必要単位数	24		
選択必修科目	シグナル伝達特論	2	中村	授業概要参照
	細胞分子医学特論	2	清野	授業概要参照
	薬物治療学特論	2	久野 / 平井	授業概要参照
	基礎解剖学	2	寺島	授業概要参照
	微生物感染症学特論	2	堀田	授業概要参照
	選択必修科目必要単位数	6		
修了に必要な単位数	30			

注1) 指導教員の承認が得られれば、本学他研究科の授業科目の4単位までを修了要件単位数に算入することができます。

注2) 6大学連携オンコロジーチーム養成プラン各コースに関しては、カリキュラムが異なります(下記参照)。

平成22年度 バイオメディカルサイエンス専攻 授業科目一覧
[6大学連携オンコロジーチーム養成プラン]用

がん専門薬剤師養成コース

授業科目	科目名	単位数	コーディネータ	担当教員
必修科目	共通特論 : 腫瘍病態生物学 注)	2	南 博信	授業概要参照
	共通特論 : 臨床腫瘍学総論 注)	2	南 博信	授業概要参照
	共通特論 : 臨床腫瘍学各論 注)	2	南 博信	授業概要参照
	がん薬物療法基本実習	3	平井	平井
	バイオメディカルサイエンス特別研究	10	指導教員	指導教員
必修科目必要単位数	19			
選択科目	バイオメディカルサイエンスA	2	片岡	授業概要参照
	バイオメディカルサイエンスB	2	横崎	授業概要参照
	社会医学	1	西尾	授業概要参照
	生命倫理・安全	1	西尾	授業概要参照
	薬物治療学特論	2	久野 / 平井	授業概要参照
	職種横断的ケーススタディ演習	1	平井	平井、南、鈴木
	SPを用いた職種横断的臨床課題演習	1	平井	平井、南、鈴木、佐々木
	がん薬物療法臨床研究	3	平井	平井
	選択科目必要単位数	11		
	修了に必要な単位数	30		

注) 神戸大学外で受講する授業

医学物理士養成コース

授業科目	科目名	単位数	コーディネータ	担当教員
必修科目	共通特論 : 腫瘍病態生物学 注)	2	南 博信	授業概要参照
	共通特論 : 臨床腫瘍学総論 注)	2	南 博信	授業概要参照
	共通特論 : 臨床腫瘍学各論 注)	2	南 博信	授業概要参照
	放射線治療計画基本演習	3	佐々木	佐々木、岡本、西村英輝他
	バイオメディカルサイエンス特別研究	10	指導教員	指導教員
必修科目必要単位数	19			
選択科目	バイオメディカルサイエンスA	2	片岡	授業概要参照
	バイオメディカルサイエンスB	2	横崎	授業概要参照
	社会医学	1	西尾	授業概要参照
	生命倫理・安全	1	西尾	授業概要参照
	放射線腫瘍学総論	2	佐々木	佐々木、岡本、西村英輝
	放射線生物学	2	佐々木	佐々木他
	高精度放射線治療学特論	2	佐々木	佐々木、岡本他
	職種横断的ケーススタディ演習	1	平井	平井、南、鈴木
	SPを用いた職種横断的臨床課題演習	1	平井	平井、南、鈴木、佐々木
	放射線治療計画臨床研究	3	佐々木	西村英輝
選択科目必要単位数	11			
修了に必要な単位数	30			

注) 神戸大学外で受講する授業

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	バイオメディカルサイエンス A			授業形式	講義		
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位 30 時間	選択・必修	必修		
コーディネータ	片岡 徹	曜日・時間限	前期 月曜日 13:20 ~ 16:40 未定部分は決定次第通知				
担当分野名	分子生物学、感染病理学・病理病態学、細胞生理学、神経発生学						
担当教員名	片岡 徹(分子生物学)、林 祥剛(感染病理学・病理病態学)、南 康博・西田 満(細胞生理学)、山口 瞬(神経発生学)						
授業目標	<p>分子・細胞レベルから個体レベルにいたる生体の構造と機能について学ぶ。 体液調節・腎臓、呼吸、循環などの生体のホメオスタシスの維持に必須の機能について、分子・細胞、組織・器官から個体に至るレベルで学ぶ。(担当:片岡) 病気の成り立ち、特に癌の発生について学ぶ。(担当:林) 個体は、その構成する特殊機能を担う器官からなる。その特殊分化した器官が如何にしてその機能を発揮するかを、細胞、組織レベルから学ぶ。個体の発生と細胞、上皮細胞、間質組織についてその形態と機能を学ぶ。(担当:山口) 分子・細胞レベルでの細胞極性・移動の分子機構、DNA 損傷応答の分子機構および転写制御機構について学ぶとともに、これらの機構の破綻と病態との関連について教授する。また、創薬について産学官民連携の観点から、その現状を学ぶ。(担当:南、西田、非常勤講師 2 名)</p>						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/12 (月)	13:20 ~ 16:40	共同会議室	乳癌の発生と病理病態	林 祥剛	×
	2)	4/19 (月)	13:20 ~ 16:40	共同会議室	大腸癌、婦人科癌の発生と病理病態	林 祥剛	×
	3)	6/7 (月)	13:20 ~ 16:40	共同会議室	細胞:細胞の構造	山口 瞬	
	4)	6/14 (月)	13:20 ~ 16:40	大講義室	初期発生 1):減数分裂および受精卵から脊索突起の形成まで	山口 瞬	
	5)	6/21 (月)	13:20 ~ 16:40	大講義室	初期発生 2):器官形成期	山口 瞬	
	6)	未定	未定	未定	DNA 損傷応答の分子機構およびその異常と病態	南 康博	
	7)	未定	未定	未定	細胞極性移動の分子機構およびその異常と病態	西田 満	
	8)	未定	未定	未定	神経系の発生と分化の分子機構	遠藤 光晴	
	9)	未定	未定	未定	産学官民連携の視点からの創薬の今後	佐藤 督 <small>(第一三共株式会社)</small>	
	10)	7/12 (月)	13:20 ~ 16:40	共同会議室	体液と腎臓の機能	片岡 徹	×
11)	7/13 (火)	13:20 ~ 16:40	共同会議室	呼吸の調節機構 循環の調節機構	片岡 徹	×	
参 考 書	<p>片岡担当分・『オックスフォード・生理学』(丸善) 山口担当分・『ラングマン 人体発生学』(メディカル・サイエンス・インターナショナル) 『標準組織学総論・各論』(医学書院) 林担当分・特になし 南・西田・遠藤他担当分・『細胞生物学』(東京化学同人)</p>						

成績評価	<p>授業の出席と出席試験で評価する。(林・山口担当分) 講義への出席と指定課題に対するレポートの提出により評価する。 講義の出席評価方法とレポートの課題・評価方法が各教員担当分によって多少異なるので、授業案内に記載する。さらに、各教員担当の最初の講義の際に詳細を説明する。 最終成績は、各教員担当分の成績を平均して算出する。</p>
備考	<p>(メールアドレス) hayashiy@med.kobe-u.ac.jp (林)、shunyama@med.kobe-u.ac.jp (山口)、minami@kobe-u.ac.jp (南)、nishita@med.kobe-u.ac.jp (西田)、mendo@med.kobe-u.ac.jp (遠藤)、kataoka@people.kobe-u.ac.jp(片岡) (オフィスアワー) 毎月曜日 13時から17時(林)、木曜日 17時30分～18時30分(山口)、平日 17時～18時(南)、平日 17時～18時(西田)、平日 17時～18時(遠藤)、火曜日 17時～18時(片岡)</p>

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	バイオメディカルサイエンス B			授業形式	講義		
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位 30 時間	選択・必修	必修		
コーディネータ	病理学 横崎 宏	曜日・時限	原則 木曜日・18:00 ~ 20:00				
担当分野名	病理学、動物実験施設、分子脳科学、新分野						
担当教員名	横崎 宏・仙波秀峰(病理学)、饗場篤(客員教授)、塩見雅志(動物実験施設)、戸田達史・小林千浩・金川基(分子脳科学)、的崎 尚(新分野)						
授業目標	<p>脳機能、発がん機構、発生等の哺乳動物の高次機能について、分子レベルで学ぶ。</p> <p>・トランスジェニックマウスやノックアウトマウスの作製法や解析の実際について、様々な実験法の原理・応用例を解説する。(担当: 饗場)</p> <p>・がんとはどのような病気かを理解した後に、がんを作る生活習慣、がんの発生・増殖・進展の分子メカニズム、がん細胞と間質の相互作用について解説する(担当: 横崎、仙波、非常勤講師)</p> <p>・医学における動物実験の成果と必要性およびそれを支える適正な動物実験について解説する(担当: 塩見、非常勤講師)</p> <p>・先端のゲノム科学の潮流とその医学・生物学的成果・応用について例を挙げながら学習する。(担当: 戸田、小林、金川)</p>						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/15 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	マウスの遺伝子操作	饗場 篤	
	2)	4/22 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	GIST の病態解明と分子標的治療	廣田誠一 (兵庫医科大学)	
	3)	5/6 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	がんの発生・増殖・進展のメカニズム	横崎 宏	
	4)	5/20 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	消化管がんの新しい診断・治療標的の同定へのオーミクス解析によるアプローチ	安井 弥 (広島大学)	
	5)	5/27 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	がんの発生進展過程と微小環境の捉え方	落合淳志 (国立がんセンター東病院)	
	6)	6/3 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	ゲノム科学的手法を用いた疾患遺伝子の探索	小林千浩	
	7)	6/10 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	疾患原因遺伝子の機能解析に基づいた発症序の解明と治療法	金川 基	
	8)	6/24 (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	神経疾患の分子遺伝学と先端のゲノム科学	戸田達史	
	9)	7/5 (月)	14:40 ~ 16:40	B 講義室	動物実験の必要性和適正な動物実験の実施(仮題)	塩見雅志	
	10)	7/6 (火)	13:20 ~ 15:20	B 講義室	トランスレーショナルリサーチとノーベル賞に貢献した WHHL ウサギ(仮題)	塩見雅志	

	11)	7/6 (火)	15:40 ~ 17:40	B 講義室	サルを用いた再生医療 - ES 細胞、iPS 細胞を用いた研究の現状 (仮題)	鳥居隆三 (滋賀医科大学)	
	12)	7/9 (金)	15:40 ~ 17:40	B 講義室	ライフサイエンスを支える疾患モデルラットの研究開発(仮題)	庫本高志 (京都大学)	
	13)	/ (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	未定	新分野教員	
	14)	/ (木)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	未定	新分野教員	
	15)	9/ ()	: ~ :	未定	実験動物に感謝する集い	未定	
参 考 書	The Biology of Cancer (Weinberg RA [ed], Garland Science)						
成 績 評 価	<p>講義・セミナーへの出席状況およびレポート提出により判定する。</p> <p>講義の出席評価法とレポートの課題・評価方法が担当教員によって多少異なるので、各担当教員の講義の際に詳細を説明する。</p>						
備 考	<p>(メールアドレス) 横崎 宏 (代表者) : hyoko@med.kobe-u.ac.jp</p> <p>(オフィスアワー) 月、木 9:00 ~ 17:00 (来室前に必ずアポイントメントを取る)</p>						

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	社会医学			授業形式	講義		
配当年次	修士 1 年次	単位数	1 単位 (15 時間)	選択・必修	必修		
コーディネータ	西尾久英	曜日・時限	前期 火曜日・18:00 ~ 19:30				
担当分野名	疫学分野、法医学分野、感染制御学分野						
担当教員名	西尾久英、上野易弘、西村範行、森川悟、李明鎮、白川利朗						
授業目標	医学と社会の関わりを理解する						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	5/11 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	公衆衛生学概論：公衆衛生の歴史と今日の問題について概説する	西尾久英	
	2)	5/18 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	法医鑑定 1	上野易弘	
	3)	5/25 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	法医鑑定 2	上野易弘	
	4)	6/22 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	癌	西村範行	
	5)	6/29 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	母子保健	森川悟	
	6)	7/6 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	公害病：日本の4大公害病について概説する	李明鎮	
	7)	7/13 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	遺伝子治療 1	白川利朗	
	8)	7/20 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	遺伝子治療 2	白川利朗	
参考書	講義の中で適宜示される						
成績評価	出席とレポートとで総合的に評価される						
備考	(メールアドレス) 西尾久英(代表者) : nishio@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 西尾久英(代表者) : 月曜日 17:00 ~ 19:00 疫学分野研究室						

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	生命倫理・安全			授業形式	講義		
配当年次	修士 1 年次	単位数	1 単位 (15 時間)	選択・必修	必修		
コーディネータ	西尾久英	曜日・時限	前期 火曜日・18:00 ~ 19:30				
担当分野名	疫学分野						
担当教員名	西尾久英、平井みどり、江原一雅、高岡裕、寺島俊雄、塩見雅志、山下浩司、坂本攝						
授業目標	医学、医療に関わる倫理、安全について理解する						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/20 (火)	16:00 ~ 18:30	大講義室	動物実験講習会：動物実験を適切に行うための知識やルールを学ぶ	塩見雅志	
	2)	4/27 (火)	15:30 ~ 16:40	大講義室	遺伝子組換え実験講習会：遺伝子組換え実験を安全に行うための知識やルールを学ぶ	寺島俊雄	
	3)	4/27 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	遺伝子診断の倫理：遺伝子診断と遺伝カウンセリング	西尾久英	
	4)	6/1 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	薬害：医薬品の副作用被害と救済制度	平井みどり	
	5)	6/8 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	チーム医療・医療安全：安全対策・危機管理	江原一雅	
	6)	6/15 (火)	18:00 ~ 19:30	B 講義室	IT 社会：生命科学とセキュリティ	高岡裕	
	7)	6/17 (木)	15:30 ~ 17:00	大講義室	RI 講習会(1)：RI 実験を安全に行うための知識やルールを学ぶ	山下浩司	
	8)	6/17 (木)	17:00 ~ 18:00	大講義室	RI 講習会(2)：RI 実験を安全に行うための知識やルールを学ぶ	坂本攝	
参考書	講義の中で適宜示される						
成績評価	出席とレポートとで総合的に評価される						
備考	(メールアドレス) 西尾久英(代表者) : nishio@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 西尾久英(代表者) : 月曜日 17:00 ~ 19:00 疫学分野研究室						

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	シグナル伝達特論			授業形式	講義		
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位 30 時間	選択・必修	選択必修		
コーディネータ	中村俊一	曜日・時限	前期 月曜日 17:00 ~ 19:00				
担当分野名	脂質生化学、分子細胞生物学、神経情報伝達学、膜動態学、膜生物学、シグナル伝達学、生化学						
担当教員名	竹縄忠臣, 伊集院壮, 高井義美, 扇田久和, 齋藤尚亮, 上山健彦, 匂坂敏朗, 伊藤俊樹, 力武良行, 中村俊一, 岡田太郎						
授業目標	細胞内シグナル伝達を理解し、分子レベルで生命現象及びその病態への理解を深める。						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/19 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	スフィンゴ脂質を介するシグナル伝達 (1)	中村	
	2)	4/26 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	スフィンゴ脂質を介するシグナル伝達 (2)	岡田/中村	
	3)	5/10 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	小胞輸送によるシグナル伝達制御 (1)	匂坂	
	4)	5/17 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	小胞輸送によるシグナル伝達制御 (2)	匂坂	
	5)	5/24 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	タンパク質による生体膜の制御機構 (1)	伊藤	
	6)	5/31 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	タンパク質による生体膜の制御機構 (2)	伊藤	
	7)	6/7 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	細胞内シグナル伝達の基本的な機構 (1)	扇田/高井	
	8)	6/14 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	細胞内シグナル伝達の基本的な機構 (2)	扇田/高井	
	9)	6/21 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	低分子量 G 蛋白質を介するシグナル伝達 (1)	力武	
	10)	6/28 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	低分子量 G 蛋白質を介するシグナル伝達 (2)	力武	
	11)	7/5 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	イノシトールリン脂質代謝総論	伊集院/竹縄	
	12)	7/12 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	イノシトールリン脂質代謝と病気	伊集院/竹縄	
	13)	9/6 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	PKC シグナリングの可視化と病態との関連	齋藤	
	14)	9/13 (月)	17:00 ~	第 2 講堂	NOX ファミリーのシグナル伝達	上山/齋藤	
15)							
参考書	特に指定無し						
成績評価	レポート及び出席状況により総合的に評価する。また、授業時間内に小テストを行う時はその結果も評価に加える。						
備考	(メールアドレス) snakamur@kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 中村俊一 (月曜日、火曜日 14:00 ~ 18:00)						

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	細胞分子医学特論			授業形式	講義・演習		
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位 30 時間	選択・必修	選択		
コーディネータ	清野 進 教授 (細胞分子医学分野)	曜日・時限	前期 水曜日 17:30 ~ (日毎に開始時間が異なるので注意)				
担当分野名	構造生物学、細胞生物学、細胞分子医学						
担当教員名	廣明秀一(構造生物学)、古瀬幹夫(細胞生物学)、清野 進(細胞分子医学)、南 幸太郎(細胞分子医学)、柴崎忠雄(細胞分子医学)						
授業目標	本授業は構造生物学、細胞生物学、細胞分子医学から構成され、それぞれの基礎、原理と生命科学研究における実践レベルまで理解する。						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/21 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	構造生物学 1. 蛋白質科学入門	廣明 秀一	
	2)	4/28 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	構造生物学 2. 構造生物学のための試料調製法	廣明 秀一	
	3)	5/12 (水)	18:00 ~ 20:00	第二講堂	構造生物学 3. 蛋白質構造の基礎	廣明 秀一	
	4)	5/19 (水)	17:30 ~ 19:30	情報センター 一端末室	構造生物学 4. バイオインフォマテイクス(演習形式)	廣明 秀一	×
	5)	6/2 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	構造生物学 5. 構造解析法(結晶解析・電子線解析)	廣明 秀一	
	6)	6/23 (水)	17:00 ~ 18:30	第二講堂	構造生物学 7. 蛋白質の NMR 解析の実際	廣明 秀一	×
	7)	6/23 (水)	18:40 ~ 20:10	第二講堂	構造生物学 8. 蛋白質の NMR 解析の実際(演習形式)	廣明 秀一	×
	8)	6/30 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	構造生物学 6. 構造生物学と論理的創薬	廣明 秀一	
	9)	7/7 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞分子医学 1. 生体における分泌現象	清野 進	
	10)	7/14 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞分子医学 2. バイオイメージング	柴崎 忠雄	
	11)	7/21 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞生物学 1. 上皮細胞間接着 概論	古瀬 幹夫	
	12)	7/28 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞生物学 2. 上皮細胞間接着 分子機構	古瀬 幹夫	
	13)	9/1 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞生物学 3. 上皮細胞間接着 病態との関わり	古瀬 幹夫	
	14)	9/8 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞分子医学 3. 蛋白質の機能 発現: 転写、翻訳、分解	南 幸太郎	
15)	9/15 (水)	17:30 ~ 19:30	第二講堂	細胞分子医学 4. 膵臓の再生	南 幸太郎		
参 考 書	化学同人「やさしい原理から入るタンパク質科学実験法2 タンパク質をみる」 メディカルサイエンスインタナショナル「蛋白質の構造と機構、GA,Petzko」 Alberts; Molecular Biology of the Cell						

成績評価	<p>出席、レポート等を考慮して評価する。</p> <p>構造生物学シリーズ8回については、2回の演習形式講義内で小レポートを作成・提出のこと。</p> <p>細胞生物学シリーズ3回については、最低2回出席し、最終回に課すレポートを提出すること。</p> <p>細胞分子医学シリーズ4回については、各テーマ毎にレポート(A4用紙1枚以内)を提出すること。</p>
備考	<p>(メールアドレス)</p> <p>廣明秀一特命教授 hiroakih@med.kobe-u.ac.jp、古瀬幹夫教授 furuse@med.kobe-u.ac.jp、 清野進教授 seino@med.kobe-u.ac.jp、南幸太郎准教授 kminami@harbor.kobe-u.ac.jp、 柴崎忠雄講師 tshiba@port.kobe-u.ac.jp</p> <p>(オフィスアワー)</p> <p>火曜日・木曜日、10:00 - 17:00 (廣明)</p> <p>火曜日、13:00 - 17:00 (古瀬)</p> <p>木曜日、13:00 - 17:00 (BTセンター) (清野)(南)(柴崎)</p>

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	薬物治療学特論			授業形式	講義		
配当年次	修士 1年次	単位数	2単位 30時間	選択・必修	選択必修		
コーディネータ	久野・平井	曜日・時限	金曜日 18:00-21:00				
担当分野名	分子薬理・薬理ゲノム学、薬物動態学						
担当教員名	久野 高義、平井 みどり、他						
授業目標	基礎研究の成果を薬物治療に生かす方法論や実例について学び、現在の医療における薬物治療の位置づけに関する基礎的な知識を修得する。						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	4/16 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	抗がん剤の適正使用 / 確認テスト	平井	
	2)	4/23 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	生物分子遺伝学的アプローチを用いたバルプロ酸標的分子の同定 / 確認テスト	馬	
	3)	5/14 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	睡眠薬の原理と正しい使い方 / 確認テスト	久野	
	4)	5/21 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	糖鎖合成異常の疾患と治療 / 確認テスト	北川	
	5)	5/28 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	最近の薬物相互作用 / 確認テスト	岩川	
	6)	6/4 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	がん治療に生かすプロテオーム / 確認テスト	中村(任)	
	7)	6/11 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	重症筋無力症の診断と治療 / 確認テスト	太田	
	8)	6/18 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	薬物輸送体の最新の知見 / 確認テスト	平野	
参考書							
成績評価	講義への出席と、講義中に提出されるレポートを評価する。						
備考	(メールアドレス) midorih@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 月曜日 17時半～21時						

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	基礎解剖学 <i>e-Learning</i>			授業形式	講義・実習・実習見学・ <i>e-Learning</i>		
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位	選択・必修	選択必修		
コーディネータ	寺島俊雄	曜日・時限	水曜日 1 時限 (09:00-10:30) 2 時限 (10:30-12:00) 木曜日 1 時限 (09:00-10:30) 2 時限 (10:30-12:00)				
担当分野名	神経発生学分野						
担当教員名	寺島俊雄、吉川知志、勝山裕						
授業目標	講義では解剖学ことに神経解剖学の基礎を学ぶ。また実習および実習見学を通じて骨、脳、人体の構造を学ぶ。講義資料、レポート課題等はインターネットを利用して供給する (<i>e-Learning</i>)。						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	04/21 (水)	09:00 ~ 10:30	B 講義室	神経組織学	寺島	×
	2)	04/21 (水)	10:30 ~ 12:00	B 講義室	神経系の発生・変性・再生	寺島	×
	3)	04/22 (木)	09:00 ~ 10:30	第2実習室	骨学実習 (1)	全員	×
	4)	04/22 (木)	10:30 ~ 12:00	第2実習室	骨学実習 (2)	全員	×
	5)	04/28 (水)	09:00 ~ 10:30	B 講義室	脳の解剖学 (1)	寺島	×
	6)	04/28 (水)	10:30 ~ 12:00	B 講義室	脳の解剖学 (2)	寺島	×
	7)	05/06 (木)	09:00 ~ 10:30	第2実習室	脳実習 (1)	全員	×
	8)	05/06 (水)	10:30 ~ 12:00	第2実習室	脳実習 (2)	全員	×
	9)	05/12 (水)	09:00 ~ 10:30	B 講義室	脳の解剖学 (3)	寺島	×
	10)	05/12 (水)	10:30 ~ 12:00	第2実習室	神経回路実習	全員	×
	11)	05/13 (木)	09:00 ~ 10:30	B 講義室	ゼブラフィッシュを用いた神経研究の遺伝学的、発生工学的アプローチ (1)	吉川	×
	12)	05/13 (木)	10:30 ~ 12:00	B 講義室	ゼブラフィッシュを用いた神経研究の遺伝学的、発生工学的アプローチ (2)	吉川	×
	13)	05/19 (水)	09:00 ~ 10:30	B 講義室	大脳皮質形成の分子メカニズム (1)	勝山	×
	14)	05/19 (水)	10:30 ~ 12:00	B 講義室	大脳皮質形成の分子メカニズム (2)	勝山	×
15)	未定	未定	第3実習室	人体解剖学実習見学	全員	×	
参考書	実習チェックリストとレポートは下記の URL を参照し、各自でダウンロードすること。 http://www.med.kobe-u.ac.jp/anato1/education/index.html						

成績評価	骨学実習, 人体解剖学実習見学, 脳実習の出席とチェックリストの提出, e-Learning 教材による自己学習とレポート提出により総合的に評価する。
備考	教員連絡先 寺島俊雄 ttera@med.kobe-u.ac.jp (電話) 078-382-5320 吉川知志 skikkawa@med.kobe-u.ac.jp (電話) 078-382-5325 勝山 裕 kats@med.kobe-u.ac.jp (電話) 078-382-5325 オフィスアワー: 水・木曜の 12:00-13:00 (基礎校舎 C 棟1階)。

[BMS 専攻授業概要]

授業科目名	微生物感染症学特論			授業形式	講義		
配当年次	修士 1年次	単位数	2単位	選択・必修	選択必修		
コーディネータ	堀田 博	曜日・時限	木 9:30-12:00				
担当分野名	微生物学						
担当教員名	概要参照						
授業目標	BMS 専攻に必要な微生物感染症学(ウイルス学、細菌学、真菌学、感染免疫学)の知識を修得する。また、時に応じて、微生物感染症学研究の最先端のトピックスに触れ、生命科学研究における微生物感染症学の意義と展望について学ぶ。						
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者	学部聴講
	1)	10/7 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	ヘルペスウイルス感染症	森 康子	
	2)	10/14 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	フラビウイルス感染症	小西英二	
	3)	10/21 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	C型肝炎	堀田 博	
	4)	10/28 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	麻疹及びその他のパラミクソウイルス感染症	伊藤正恵	
	5)	11/4 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	インフルエンザ	新矢恭子	
	6)	11/11 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	ヘリコバクターピロリ感染症	東 健	
	7)	11/18 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	腸チフス	白川利朗	
	8)	11/25 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	マラリア	川端真人	
	9)	12/2 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	ウイルス性下痢症	近平雅嗣	
	10)	12/9 (木)	9:30 ~ 12:00	未定	性感染症	荒川創一	
参考書							
成績評価	講義の出席状況及びレポート提出により判定する						
備考	(メールアドレス) hotta@kobe-u.ac.jp (オフィスアワー)						